

今年6月、創業85周年を迎える。「皇居新宮殿の屋根葺工事を手掛けた、創業者の祖父の技術を父が引き継ぎ、われわれが研さんを重ねていきたい」

その思いが2010年代に、日本デザイン振興会が主催するグッズデザイン賞に、4度



創業85周年を迎える  
川上板金工業所(琴平町)  
代表取締役

## 川上 正城さん

の受賞を成し遂げた。培ってきた技術への信頼と信頼を高めることで、さらに技術に磨きをかけていく。「受賞した商品を作り施工する社員のモチベーションが高まれば、社員のスキルアップにつながる。受賞商品を手掛けた社員の子どもたちにも喜んでもらいたい」と期待感を示す。

設立50周年の昨年8月、社訓である感謝の気持ちを社員の他、取引先に表す記念イベントを開いた。今年6月には地域の人たちも招き、創業記念イベントを開催する。

自身はゼネコンに勤務中に父から呼び戻された。「入社した年の5月5日以降、3カ月休みがなかつたのはつらかった」と苦笑するが、今年は鋼板商社・鋼板メーカーに勤めていた2人の息子を呼び戻す。「社会人として学んだ経験を、うちの会社で生かしてほしい」とエールを送る。(香)